

事例7 広域農道「飯石地区」（加茂町、木次町、三刀屋町、吉田村、掛合町、頓原町、赤来町）

○地区の概要

本地区は、雲南西部地域に位置する広域営農団地を東西に結ぶ幹線道路として50kmの農道を整備し、地域内の広域連携を図り、地域の農業生産性の向上や生活環境の改善に資するものです。

事業年度：昭和57年度～平成15年度（予定）

施工延長：50,057m

幅員：有効幅員5.5m、全幅員7.0m

総事業費：43,300百万円（予定）

○農道の機能・効果

広域営農団地整備計画に基づき、本広域農道をはじめほ場整備等の基盤整備が進み、そのことから、農業関連施設等の建設や営農の組織化が促進されるとともに、特定品目の生産量の増加や新たな作物への取り組みも始まっており、農道を利用して松江・出雲市場さらには広島市場へ出荷されている。

また、地域の生活道路として、あるいは沿線で整備が進んでいる各種の活性化施設へのアクセス道として、県内外の人々に広く活用されている。

現在、一部区間が未整備であるが、全線開通後は、関係町村の言わば表側を通る国道54号と裏側を通る本農道とが連携し、地域発展に大きな効果を発揮することが期待される。



（祝原大橋：赤来町）



○受益地内での効果発現

I. 農業関係効果

①特産品の生産量の増大

広域農道の整備が進み、平成4年以降順次共用を開始しており、効率的な集出荷体制が確立されつつあることから、各町村では特産品の生産に力を入れている。

このことにより、米中心であった本地域の農産物生産が野菜・酪農等の農産物にシフトしつつある。

また、大豆、ピーマン、メロン、ぶどう、ほうれんそう、肉用牛、養鶏などについても生産振興作目と定め、積極的に取り組んでいる。

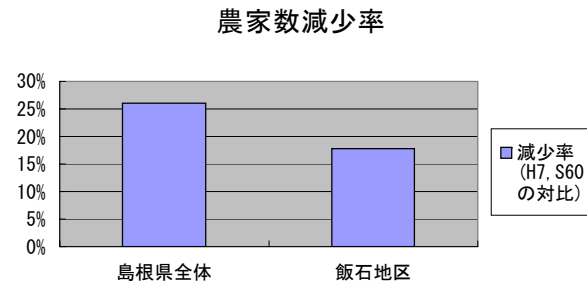
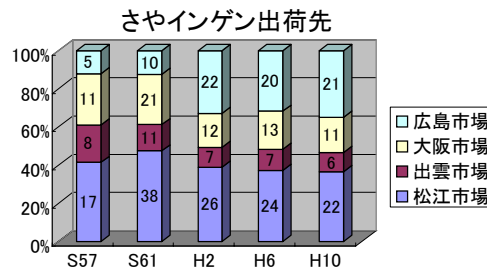
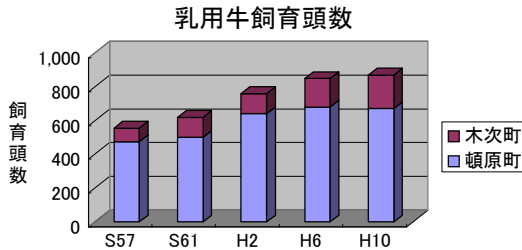
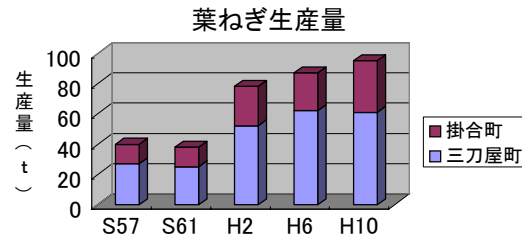
②農産物の出荷先の変化

農産物の出荷先については、農道の開通を睨んだ市場開拓が行われており、従来の県内市場のみならず、広島市場への出荷が伸びてきている。

(特に、さやインゲン及びトルコギキョウ等は、10年前に比べて2倍に伸びている。)

③農家数減少の歯止め

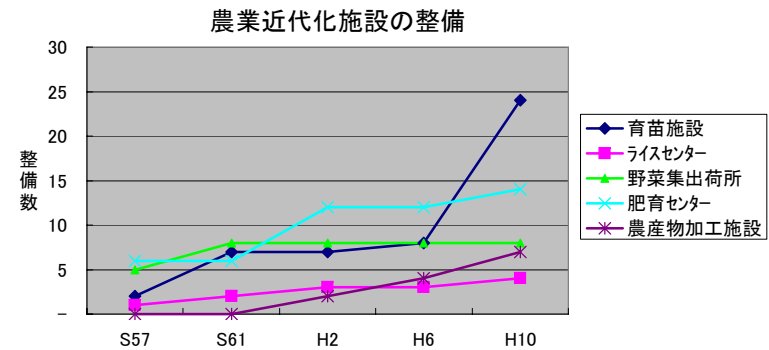
農家数については、島根県全体の減少率が26%である中で、本地区受益町村では18%であり、農道が農家数減少の歯止めに貢献している。



④農業近代化施設の整備

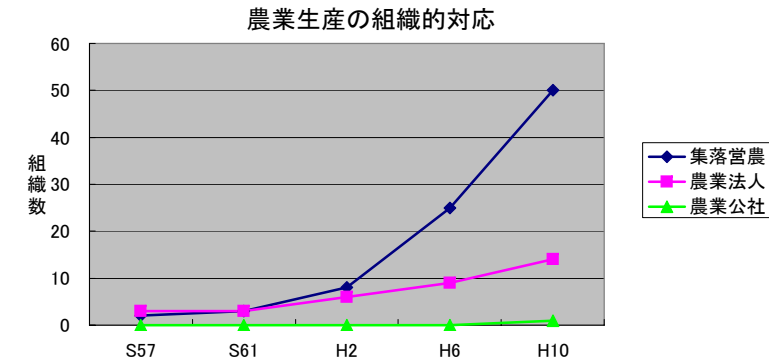
農業近代化施設の整備は、広域農道の部分共用に沿って着実に増えており、効率的な集出荷体制が整いつつある。

特に、稲、野菜、花卉の育苗施設が増加しているが、広域農道が整備されたことによる生産品目の多様化の取り組みが進むとともに、農道が苗の搬送に活用されている。



⑤営農組織の設立

同様に、農業基盤整備の進展を契機として、営農の組織化への取り組みが行われており、集落営農、農業法人、農業公社が次々に設立され、地域の特産品の生産量にも伸びが見られるようになった。



【広域農道沿線の代表的営農組織等】

名称	所在地	概要
槻之屋ヒーリング	木次町	平成10年設立された農事組合法人であり、稲作の作業受託・米や花の生産販売を行っている。健康を第一に考え、低農薬、無化学肥料で栽培された「奥出雲癒し米」はブランド米として県外からの注文も増えている。平成11年には女性部が設立され、野菜、花卉の栽培も始まり多角経営化してきている。
フレッシュファーム神代	三刀屋町	平成10年設立された農事組合法人であり、奥出雲の豊かな自然ときれいな水の環境の中で米と手作りの味噌などを生産・販売している。規模は小さいが、集落全体でがんばっている。農産加工品「神代みそ、梅干しなどは、近隣のAコープ、スーパー、出雲空港売店などで販売されている。
神明畜産島根三刀屋牧場	三刀屋町	平成3年に設立され、現在1640頭が肥育されている。現在、関東、関西方面へ100頭/月出荷している。逆に北海道、岡山などから100頭の子牛が入荷しており、常時大型トラックで8台分が流通している。
グリーンバレー大空	掛合町	葉ねぎの水耕栽培を行っており、平成5年に農業生産法人として設立された。現在、2000㎡のハウスで栽培が行われており、JAを通じて出荷されている。

名称	所在地	概要
穴見営農組合	掛合町	平成11年に掛合町の穴見集落18戸が集まり設立されたもので、主に稲作の受託を行っている。
別木農園	掛合町	掛合町穴見集落の花弁専門の認定農家であり、当初は路地菊やほうれん草の栽培が中心であったが、現在はトルコキキョウ30a、アルストロメリア17a、スターチス2a、ほか露地物70aという経営で、広域農道を利用して出雲斐川市場、松江市場へ向けて出荷されている。
丸大食品直営農場	赤来町	豚の一貫生産農場であり、年間7,900頭を出荷している。広域農道の完成により、出荷先である大田食肉公社への輸送時間が短縮される。

Ⅱ. その他の効果

①病院・役場・消防のアクセス時間短縮

集落名	病院	役場	消防
木次町西日登(芦原)	平成記念病院	木次町役場	木次消防署
	22分 → 15分	18分 → 10分	25分 → 18分
掛合町多根(中多根)	平成記念病院	掛合町役場	木次消防署
	25分 → 16分	18分 → 15分	28分 → 20分
掛合町松笠(滝谷)	平成記念病院	掛合町役場	木次消防署
	35分 → 28分	23分 → 15分	40分 → 30分

②バス路線としての利用

木次町営バス

木次町地内では、開通した農道を活用し3路線の町営バスが運行されており、地域住民の日常生活に欠かせない日常の足として利用されている。

その他、介護のためのデイサービスや救急患者の搬送にもこの広域農道が活用されている。

③リクリエーション施設へのアクセス

広域農道沿線には、各種リクリエーション施設が整備されており、広域農道の開通で今後來場者の増大が見込まれる。

1) シンボル農園「食の杜」

平成11年度に整備され、ふるさと農道を経由してアクセスする交流体験型の健康農園である。



奥出雲葡萄園ワイナリー

奥出雲の自然の恵みをいっぱいに含んだ有機ブドウを原料に、味と品質を追求した上質のワインを生産しています。工場や樽貯蔵室を見学したあとは、自慢のワインをお楽しみください。新鮮な肉や野菜を味わえるバーベキューコーナー、体験学習室、特産品販売コーナーなども備えています。

●お問い合わせ：0854-42-3480



農作業体験宿泊施設

農作業の体験宿泊施設として、かやぶき屋根の家など2棟の農家を移築しました。昔懐かしい田舎のたたずまいで、ゆったりとした時間をお過ごしください。

●お問い合わせ：
0854-42-3529
室山農園（田中宅）



食の杜の敷地は、飯石広域農道の残土などを利用して平成8年から9年に造成されたものである。

2) 来島湖畔キャンプ場

来島ダム湖の湖畔に整備された野外活動施設である。7月から8月までの3ヶ月間オープンし、湖畔にネムの花が咲くころに一番のシーズンを迎える。

コイ、ヘラブナ、ウナギなどの釣りやバーベキューなども楽しめる。



3) 赤来高原りんご園

赤来町特有の気候を利用して美味しいりんごを生産している。ふじ・つがる・王林など8品種、約1,300本のりんごの木が植えられており、太陽の光をたくさん受けた美味しいりんごが味わえる。

